

シラバス

科目名		プログラミング1		担当 者 名		石原 明人、池田 真太郎	
学 科		情報システム科ITエンジニアコース		授業方法		演習	
認定単位 開講学年		6単位 1学年	開 講 期 必・選	必選		授 業 時 間 数	216時間
授業目的		プログラマ・システムエンジニアとして就職した際に求められる最低限必要なプログラミングスキルを身に付けるための授業					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		プログラム作成を通して、想像力、論理的思考、問題解決力を身に付ける。さらに、基礎ゼミと授業連携してPBLを経験し、主体的学習の意識やソーシャルスキルのトレーニング、そして協働力を身に付ける。					
授業概要		統合開発環境であるeclipseを使ってJavaプログラムを作成する。モノづくりの楽しさを知ることを重視して、Swingを使ったフレーム(ウィンドウ)プログラムの作成し、データベース操作のプログラム技術までを学習する。					
授業計画表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション		19	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	2	オリエンテーション		20	クラス概念(クラスについて理解をする)		
	3	オリエンテーション		21	クラス概念(クラスについて理解をする)		
	4	開発環境セットアップ(ストレーン、eclipse、WindowBuilder)とフレームプログラムの作成 手順		22	確認試験3(ここまでの学習内容の理解度チェック)		
	5	コンポーネントの作成(ラベル・ボタン・チェックボックス・ラジオボタン・テキストフィールド)		23	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成		
	6	コンポーネントの作成(ラベル・ボタン・チェックボックス・ラジオボタン・テキストフィールド)		24	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成		
	7	イベント処理の作成(コンポーネント操作により発生するイベント処理の作成方法)		25	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成		
	8	イベント処理の作成(コンポーネント操作により発生するイベント処理の作成方法)		26	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	9	データ型／演算／例外処理(データ型や演算処理、データ型の変換方法、例外処理について学習)		27	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	10	データ型／演算／例外処理(データ型や演算処理、データ型の変換方法、例外処理について学習)		28	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	11	確認試験1(ここまでの学習内容の理解度チェック)		29	確認試験4(ここまでの学習内容の理解度チェック)		
	12	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		30	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	13	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		31	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	14	データベース接続および検索プログラムの作成		32	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	15	データベース接続および検索プログラムの作成		33	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	16	確認試験2(ここまでの学習内容の理解度チェック)		34	まとめ		
	17	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		35	まとめ		
	18	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		36	まとめ		
成績割合		テスト	50%	学習FB方法	定期的に実施する確認試験にて理解度の確認を行い、理解度が低い学生には別途補習を行う 成績は、授業参加、出席、定期試験から総合成績を決定。作成した課題も成績に加味する		
		学習態度・出席率	20%				
		レポート	30%	成績評価			
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		情報システム科を卒業後、社会人としてシステム開発を経験。プログラム作成技術だけでなく、専門学校生の目線で、学習する意識や心構えも指導している。					

シラバス

科目名	プログラミング1		担当者名	石原 明人、池田 真太郎	
学 科	情報システム科AIシステムコース		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	6単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	216時間
授業目的	プログラマ・システムエンジニアとして就職した際に求められる最低限必要なプログラミングスキルを身に付けるための授業				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	プログラム作成を通して、想像力、論理的思考、問題解決力を身に付ける。さらに、基礎ゼミと授業連携してPBLを経験し、主体的学習の意識やソーシャルスキルのトレーニング、そして協働力を身に付ける。				
授業概要	統合開発環境であるeclipseを使ってJavaプログラムを作成する。モノづくりの楽しさを知ることが重視して、Swingを使ったフレーム(ウィンドウ)プログラムの作成し、データベース操作のプログラム技術までを学習する。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション	19	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)	
	2	オリエンテーション	20	クラス概念(クラスについて理解をする)	
	3	オリエンテーション	21	クラス概念(クラスについて理解をする)	
	4	開発環境セットアップ(エディタ、eclipse、WindowBuilder)とフレームプログラムの作成 手順	22	確認試験3(ここまでの学習内容の理解度チェック)	
	5	コンポーネントの作成(ラベル・ボタン・チェックボックス・ラジオボタン・テキストフィールド)	23	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成	
	6	コンポーネントの作成(ラベル・ボタン・チェックボックス・ラジオボタン・テキストフィールド)	24	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成	
	7	イベント処理の作成(コンポーネント操作により発生するイベント処理の作成方法)	25	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成	
	8	イベント処理の作成(コンポーネント操作により発生するイベント処理の作成方法)	26	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)	
	9	データ型／演算／例外処理(データ型や演算処理、データ型の変換方法、例外処理について学習)	27	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)	
	10	データ型／演算／例外処理(データ型や演算処理、データ型の変換方法、例外処理について学習)	28	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)	
	11	確認試験1(ここまでの学習内容の理解度チェック)	29	確認試験4(ここまでの学習内容の理解度チェック)	
	12	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)	30	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)	
	13	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)	31	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)	
	14	データベース接続および検索プログラムの作成	32	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)	
	15	データベース接続および検索プログラムの作成	33	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)	
	16	確認試験2(ここまでの学習内容の理解度チェック)	34	まとめ	
	17	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)	35	まとめ	
	18	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)	36	まとめ	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	定期的に行う確認試験にて理解度の確認を行い、理解度が低い学生には別途補習を行う	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	30%	成績評価	成績は、授業参加、出席、定期試験から総合成績を決定。作成した課題も成績に加味する	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫10%				
講師プロフィール	情報システム科を卒業後、社会人としてシステム開発を経験。プログラム作成技術だけでなく、専門学校生の目線で、学習する意識や心構えも指導している。				

シラバス

科目名		プログラミング1		担 当 者 名		石原 明人、池田 真太郎	
学 科		情報システム科ICTクリエイター コース		授 業 方 法		演 習	
認定単位 開講学年		6単位 1学年	開 講 期 必・選	必選		授 業 時 間 数	216時間
授業目的		プログラマ・システムエンジニアとして就職した際に求められる最低限必要なプログラミングスキルを身に付けるための授業					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		プログラム作成を通して、想像力、論理的思考、問題解決力を身に付ける。さらに、基礎ゼミと授業連携してPBLを経験し、主体的学習の意識やソーシャルスキルのトレーニング、そして協働力を身に付ける。					
授業概要		統合開発環境であるeclipseを使ってJavaプログラムを作成する。モノづくりの楽しさを知ることを重視して、Swingを使ったフレーム(ウィンドウ)プログラムの作成し、データベース操作のプログラム技術までを学習する。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション		19	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	2	オリエンテーション		20	クラス概念(クラスについて理解をする)		
	3	オリエンテーション		21	クラス概念(クラスについて理解をする)		
	4	開発環境セットアップ(ストレープ、eclipse、WindowBuilder)とフレームプログラムの作成 手順		22	確認試験3(ここまでの学習内容の理解度チェック)		
	5	コンポーネントの作成(ラベル・ボタン・チェックボックス・ラジオボタン・テキストフィールド)		23	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成		
	6	コンポーネントの作成(ラベル・ボタン・チェックボックス・ラジオボタン・テキストフィールド)		24	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成		
	7	イベント処理の作成(コンポーネント操作により発生するイベント処理の作成方法)		25	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成		
	8	イベント処理の作成(コンポーネント操作により発生するイベント処理の作成方法)		26	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	9	データ型／演算／例外処理(データ型や演算処理、データ型の変換方法、例外処理について学習)		27	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	10	データ型／演算／例外処理(データ型や演算処理、データ型の変換方法、例外処理について学習)		28	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	11	確認試験1(ここまでの学習内容の理解度チェック)		29	確認試験4(ここまでの学習内容の理解度チェック)		
	12	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		30	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	13	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		31	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	14	データベース接続および検索プログラムの作成		32	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	15	データベース接続および検索プログラムの作成		33	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	16	確認試験2(ここまでの学習内容の理解度チェック)		34	まとめ		
	17	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		35	まとめ		
	18	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		36	まとめ		
成績割合		テスト	50%	学習FB方法	定期的に実施する確認試験にて理解度の確認を行い、理解度が低い学生には別途補習を行う		
		学習態度・出席率	20%				
		レポート	30%	成績評価	成績は、授業参加、出席、定期試験から総合成績を決定。作成した課題も成績に加味する		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		情報システム科を卒業後、社会人としてシステム開発を経験。プログラム作成技術だけでなく、専門学校生の目線で、学習する意識や心構えも指導している。					

シラバス

科目名		プログラミング1		担当 者 名		石原 明人、池田 真太郎	
学 科		情報システム科ITスペシャリスト・大学コース		授業方法		演習	
認定単位 開講学年		6単位 1学年	開 講 期 必・選	必選		授 業 時 間 数	216時間
授業目的		プログラマ・システムエンジニアとして就職した際に求められる最低限必要なプログラミングスキルを身に付けるための授業					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		プログラム作成を通して、想像力、論理的思考、問題解決力を身に付ける。さらに、基礎ゼミと授業連携してPBLを経験し、主体的学習の意識やソーシャルスキルのトレーニング、そして協働力を身に付ける。					
授業概要		統合開発環境であるeclipseを使ってJavaプログラムを作成する。モノづくりの楽しさを知ることを重視して、Swingを使ったフレーム(ウィンドウ)プログラムの作成し、データベース操作のプログラム技術までを学習する。					
授業計画表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション		19	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	2	オリエンテーション		20	クラス概念(クラスについて理解をする)		
	3	オリエンテーション		21	クラス概念(クラスについて理解をする)		
	4	開発環境セッティング(ストレーン、eclipse、WindowBuilder)とフレームプログラムの作成手順		22	確認試験3(ここまでの学習内容の理解度チェック)		
	5	コンポーネントの作成(ラベル・ボタン・チェックボックス・ラジオボタン・テキストフィールド)		23	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成		
	6	コンポーネントの作成(ラベル・ボタン・チェックボックス・ラジオボタン・テキストフィールド)		24	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成		
	7	イベント処理の作成(コンポーネント操作により発生するイベント処理の作成方法)		25	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成		
	8	イベント処理の作成(コンポーネント操作により発生するイベント処理の作成方法)		26	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	9	データ型／演算／例外処理(データ型や演算処理、データ型の変換方法、例外処理について学習)		27	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	10	データ型／演算／例外処理(データ型や演算処理、データ型の変換方法、例外処理について学習)		28	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	11	確認試験1(ここまでの学習内容の理解度チェック)		29	確認試験4(ここまでの学習内容の理解度チェック)		
	12	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		30	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	13	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		31	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	14	データベース接続および検索プログラムの作成		32	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	15	データベース接続および検索プログラムの作成		33	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		
	16	確認試験2(ここまでの学習内容の理解度チェック)		34	まとめ		
	17	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		35	まとめ		
	18	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)		36	まとめ		
成績割合		テスト	50%	学習FB方法	定期的に実施する確認試験にて理解度の確認を行い、理解度が低い学生には別途補習を行う		
		学習態度・出席率	20%				
		レポート	30%	成績評価	成績は、授業参加、出席、定期試験から総合成績を決定。作成した課題も成績に加味する		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		情報システム科を卒業後、社会人としてシステム開発を経験。プログラム作成技術だけでなく、専門学校生の目線で、学習する意識や心構えも指導している。					